

6学年 家庭科 授業計画

広島市立 石内小学校

◆ 教科の目標

- (1) 衣食住や家族の生活などに関する実践的・体験的な活動を通して、自分の成長を自覚するとともに、家庭生活への関心を高め、その大切さに気付くようにする。
 (2) 日常生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技能を身につけ、身近な生活に活用できるようにする。
 (3) 自分と家族などのかかわりを考えて実践する喜びを味わい、家庭生活をよりよくしようとする実践的な態度を育てる。

◆ 評価の観点

- ・自分の成長と衣食住や家族の生活などについて関心を持ち、その大切さに気付き、家族の一員として家庭生活をよりよくするために進んで取り組み実践しようとする。
- ・衣食住や家族の生活などを見直し、課題を見つけ、その解決を目指して家庭生活をよりよくするために考えたり自分なりに工夫したりしている。
- ・生活の自立の基礎として日常生活に必要な衣食住や家族の生活に関する基礎的・基本的な技能を身に付けている。
- ・家庭生活を支えているものや大切さを理解し、日常生活に必要な衣食住や家族の生活などに関する基礎的・基本的な知識を身に付けている。

◆ 評価の方法

学習態度(発表、実習の様子など)、学習プリント、テスト、作品

◆ 学期ごとの学習内容と学習のポイント

	学習すること	学習のポイント
前期	<ul style="list-style-type: none"> ○生活時間を見直してみよう ○見直そう 毎日の食事 ○つくろう！さわやか生活 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の生活時間を見て、よくしたい点を見つける。 ・自分の食事のとり方を栄養的なバランスの面からふり返り、よりよい食生活を送ろうとする。 ・おいしいごはんのたき方とみそしるのつくり方を工夫する。 ・ごはんとみそしるを手順よく衛生や安全に気をつけてつくる。 ・ごはんのたき方・みそしるのつくり方を知り、いろいろな食品をバランスよく組み合わせる。 ・衣服のはたらきや、生活に合った着方に関心をもつ。また、生活に役立つ物をつくらうとする。 ・気持ちよく過ごすために、衣服の着方や手入れを工夫する。また、個性を生かして生活に役立つ物を製作する。 ・生活に合った衣服の着方や手入れができる。また、目的に合った大きさや形を考え、適切な材料を選んで生活に役立つ物を製作する。 ・衣服のはたらきや着方、手入れの仕方を理解する。また、生活に役立つ物として、身近に使われている袋やカバー、クッションなどの製作の仕方を理解する。
後期	<ul style="list-style-type: none"> ○まかせてね！きょうのごはん ○くふうしよう！毎日のくらし ○伝えよう！ありがとうの気持ち 	<ul style="list-style-type: none"> ・食品を組み合わせ、家族が喜ぶおかずを工夫してつくる。 ・これまでの学習を生かして、調理実習計画を立て、安全に気をつけて調理する。 ・食品の選び方やいろいろな調理の仕方を理解する。 ・自分の家での住み方に関心を持ち、問題を見つけようとする。 ・快適に住むための方法を自分なりに考え、工夫する。 ・自分の課題を選び、解決を図るためにいろいろな方法で調べる。 ・快適に住むための方法や工夫を理解する。 ・家族やお世話になった人たちのことを考え、感謝の気持ちを表そうとする。 ・家庭科の学習を生かして学習計画を立て、感謝の気持ちを伝えられるように工夫する。 ・家族や近隣の人々がかかわり合い協力して家庭生活を支えていることを理解する。